

2011年10月31日

**電通、スマート関連ビジネスのサポートを行う専門組織
「スマート・イノベーション推進部」を新設**

株式会社電通(本社：東京 社長：石井直)は、スマートハウス、スマート家電、電気自動車(EV)等、今後市場の大きな成長が予想される「スマート関連ビジネス」に本格的に取り組むため、2011年11月1日付で、東京本社ソーシャル・ソリューション局内に「スマート・イノベーション推進部」を新設すると共に、グループ内連携強化を図り、クライアントのスマート関連ビジネスを推進してまいります。

「スマート関連ビジネス」として、太陽光発電や蓄電池など次世代エネルギーを活用し、住宅、家電、自動車、通信など様々な企業が連携して新しい商品やサービスの開発に着手しています。今後は、食品、健康などこれまでスマートグリッドとは関連がないと思われていた業界へ広がると見られ、多くのクライアントが注目している新たな市場です。(日経BPクリーンテック研究所の調べではスマート市場は、2030年には世界で約4000兆円市場に成長する見通し)

当社では、2010年3月に設立した『21世紀的楽園創造プロジェクト(Edenプロジェクト)』により、これまで「次世代エネルギー意識調査」やスマートハウスの企業向けセミナーの実施、さらに2011年12月開催の「第42回東京モーターショー2011」の主催者テーマ事業「SMART MOBILITY CITY 2011」への企画協力など、企業間アライアンスのハブとして「スマート関連ビジネス」に携わってきました。

今後、スマート・イノベーション推進部を中心としたチーム(計30名)は、地域電通やグループ会社を交えクライアントの要望にお応えするために、スマート・イノベーション関連商品・サービスの企画・開発支援、クライアントの他業界とのアライアンスやマッチングの支援、さらに「スマートシティ」(※1)など地域開発プロジェクトも含め、クライアントのスマート関連ビジネスを推進してまいります。

(※1)スマートシティ・・・未来の街づくりにおいて、太陽光や風力、地熱などの次世代エネルギーとITを活用して統合的、効率的に管理する仕組みを、交通や、医療、教育、流通など広範囲に適用する環境未来都市のコンセプト

<本リリース内容に関するお問い合わせ>

電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部 市川 TEL：03-6216-8041